

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、政策デザイン課(☎65-6504)までお知らせください。

6月11日(金)

水球日本代表 吉田選手が市長を訪問

東京2020オリンピック水球日本代表に選出された長浜市出身の吉田拓馬選手(所属:東京ガスクリエイティブ(株)・kingfisher74)が、市長を訪問し、オリンピックへの思いや抱負を語りました。

吉田選手は、「水球人生を賭ける気持ちで臨む。チームとしてもメダル獲得できるように頑張ります」と抱負を語り、「五輪出場は小さい頃からの夢。夢を思い続け努力すれば必ずかなうと伝えたい」と地元長浜の子どもたちに激励の言葉を送りました。



6月19日(土)

笑顔があふれる人形劇

虎姫図書館で「はまかる人形劇シアター」が開催されました。この公演は、子どもたちに良質な舞台芸術に触れてもらうとともに、各劇団と子どもたちの交流の場になればと長浜市芸術文化創造協議会が開催したものです。

会場に訪れた親子は、演者の話術に引き込まれたり、人形のコミカルな動きに笑い声をあげたりしながら、物語の世界を楽しみました。

6月21日(月)

自家製辛味噌で夏を乗り切るメニューを開発

近江鉄道(株)と長浜農業高校は賤ヶ岳サービスエリアのフードコートで販売する数々のメニューを共同開発しています。

新メニューの第1弾は、同校の独自商品「コチュジャン風味噌」を使った冷やしうどん「夏にススム!コチュコチュうどん」に決定。試食をした生徒たちは、「暑いときや疲れた時に食べたくなる味。家族や友だちにも薦めたい」と味への自信をにじませました。



6月22日(火)

雨がっぱを速水小学校へプレゼント

こほく地域づくり協議会は、長浜市安全・安心まちづくり推進事業の一環として、速水小学校に児童用の雨がっぱ50着を寄贈しました。

寄贈された雨がっぱは、一目で速水小学校の児童と判別できるよう胸に校章がプリントされた黄色の雨がっぱで、校長は「心に残るプレゼントでありがたい。地域のために頑張る子どもたちが育つと思う」と感謝の言葉を述べました。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

6月27日(日)

びわ湖のてっぺんで軽トラ市

奥琵琶湖パークウェイで、軽トラックの荷台を店舗に見立てた軽トラ市が開催されました。

西浅井地域のまちおこし活動を行う「びわ湖のてっぺんプロジェクト委員会」が主催するイベントで、地域の人や観光客との交流の場を広げ地域振興に繋がれようと、今回初めて開催されました。衣類や家電製品のリサイクル品や農作物など様々な商品が荷台に並び、訪れた人と出店者の交流にも花が咲きました。



7月7日(水)

車いすバスケット日本代表 清水選手が市長と対談

東京2020パラリンピック車いすバスケットボールの日本代表に選ばれた清水千浪選手が市長とオンラインで対談しました。

代表のユニフォームを掲げた清水選手は、「素晴らしい舞台に立つ責任感を感じている。応援してくれる人へ感謝の気持ちと勝利への強い執念で結果を出したい」と力強くコメント。スピード感や迫力はもちろん、しょうがいの違いで役割やプレーが異なるのも見どころと、車いすバスケの魅力を語りました。

7月7日(水)

「ながはまアグリネットワーク」設立

市内の農業に携わる女性たちが、女性農業者組織「ながはまアグリネットワーク」の設立総会を行いました。この会は、女性農業者同士の情報共有や仲間づくりを進め、地域農業の発展につなげていくことを目的に設立されたものです。

総会後には、メンバー 24人での交流会が行われ、会長の中島かずよさんは「気楽に話し合いができる会になってほしい」と語りました。



7月7日(水)

北高ソフトテニス部が市長を訪問

「令和3年度全国高等学校総合体育大会」と「近畿高等学校ソフトテニス選手権大会」に、滋賀県代表として出場する長浜北高校女子ソフトテニス部の皆さんが市長を訪問しました。

団体戦に出場する選手たちは「支えてくれる人への感謝を忘れず、楽しみながら自分たちらしいプレイをしたい」、「長浜市代表として自信をもって臨みたい」と試合への意気込みを語りました。